

平成 30 年 12 月 6 日

公益財団法人 建築技術教育普及センター

平成 30 年木造建築士試験 「設計製図の試験」標準解答例の公表について

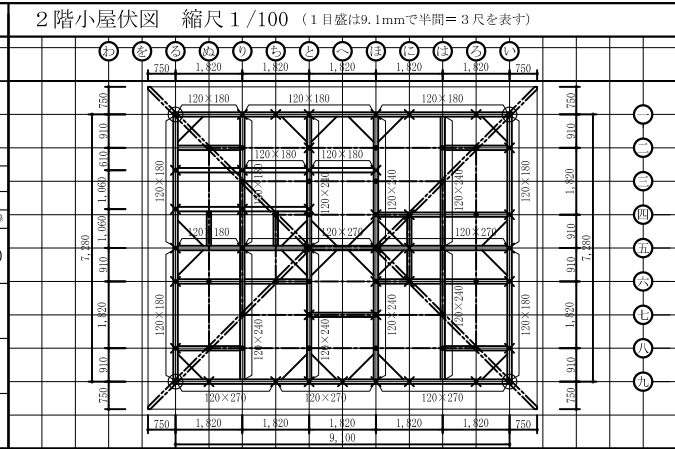
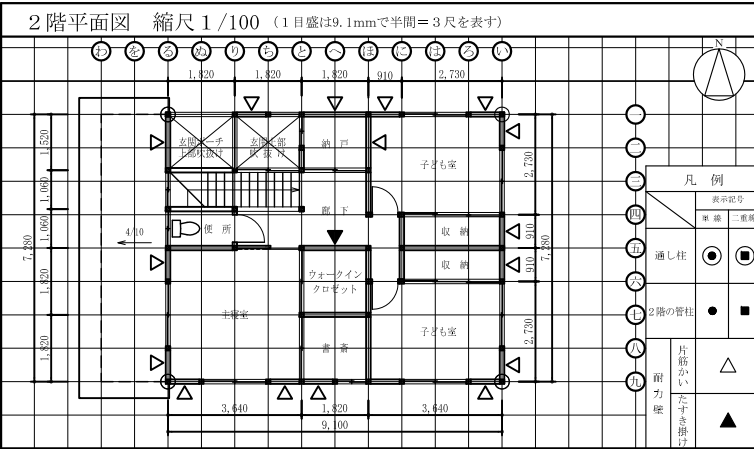
平成 30 年 10 月 14 日（日）に実施されました標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

木造建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 6 の規定に基づいて、全国 47 都道府県の指定試験機関である当センター（理事長 鈴木 眞生）が実施しています。

記

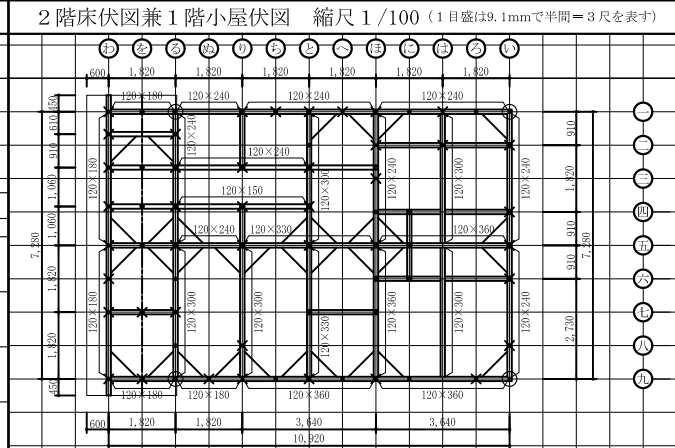
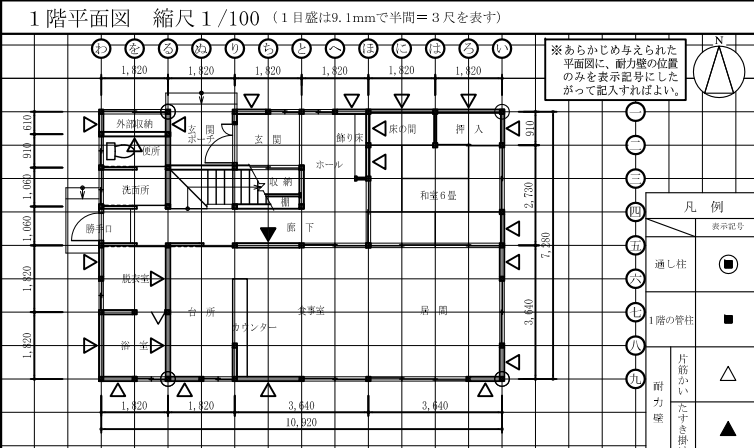
1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <https://www.jaeic.or.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 柱杖^{はしらづえ}図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

標準解答例



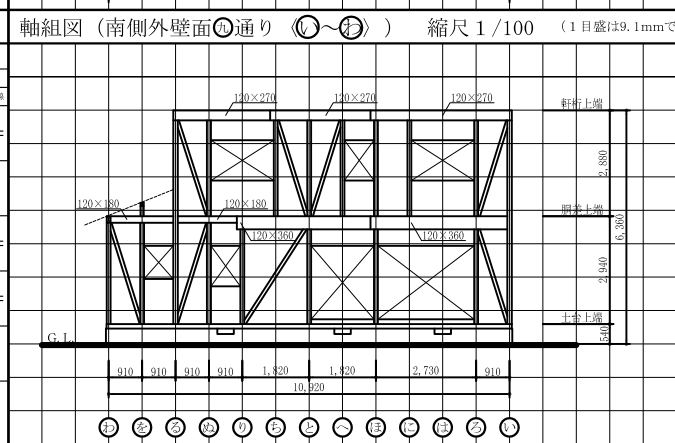
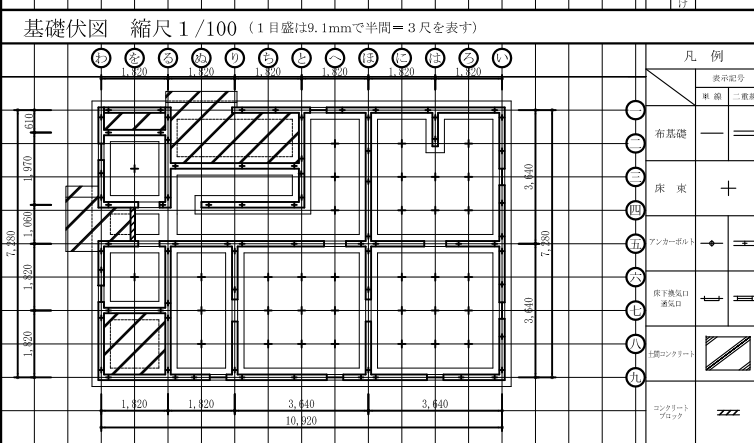
凡例

表示記号	断面寸法 (mm)
通し柱	120×120
2階の管柱	120×120
正角材	120×120
平角材	120×120
丸太材	120×120
火打梁	90×90
棟木・小梁	90×90
梁木・小梁	90×90
柱脚・小梁	90×90
屋根仕上	緑色スレート
屋根勾配	4/10



凡例

表示記号	断面寸法 (mm)
通し柱	120×120
1階の管柱	105×105
2階の管柱	105×105
梁木・小梁	120×120
正角材	120×120
平角材	120×120
丸太材	120×120
火打梁	90×90
棟木・小梁	90×90
柱脚・小梁	90×90
屋根仕上	緑色スレート
屋根勾配	4/10



凡例

表示記号	断面寸法 (mm)
布基礎	120×120
土台	120×120
通し柱	120×120
管柱	120×120
正角材	120×120
平角材	120×120
丸太材	120×120
筋かい	45×90
開口部	
継手位置	

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

主要構造部材表 [木拾い書]

部材	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数	部材	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数
1階小梁	120 × 180	3000	2	2階床梁	120 × 240	4000	7
2階床梁	120 × 240	4000	2	2階小梁	120 × 180	3000	2
柱	120 × 120	4000	5	筋かい	45 × 90	3000	1
2階小梁	120 × 180	3000	2				

- 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ (URL <https://www.jaiec.or.jp/>) にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
- 柱伏図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。